

苫前町における
平成22年度全国学力・学習状況調査の結果

平成23年1月

苫前町教育委員会

平成22年7月30日、文部科学省より平成22年度全国学力・学習状況調査の結果が公表された。また、北海道教育委員会からは、平成22年11月2日、北海道の公立学校における調査結果の概要として、「平成22年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」が公表された。苫前町教育委員会では、これらの調査結果を受けて苫前町の学力・学習状況を把握し、今後の各学校の指導の工夫改善に生かすために、調査結果の概要をまとめたものである。

平成22年度全国学力・学習状況調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の対象学年

国・公・私立学校の以下の学年の児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の方式

抽出調査（全国で約30%）及び希望利用調査

（平成19年度～21年度は悉皆調査）

苫前町〔抽出校：中学校1校 希望利用校：小学校2校、中学校1校〕

〔参考〕

【抽出調査対象校】北海道（公立）

区分	対象学校数(校)	学校数(校)(抽出率)	児童生徒数(人)
小学校	1,214	239(19.7%)	9,122
中学校	664	232(34.9%)	15,765
合計	1,878	471(25.1%)	24,887

上記の抽出調査対象校には、札幌市の公立学校を含む。

【希望利用調査参加校】北海道（公立）

区分	対象学校数(校)	学校数(校)(希望利用率)	児童生徒数(人)
小学校	975	804(82.5%)	24,542
中学校	432	357(82.6%)	18,398
合計	1,407	1,161(82.5%)	42,940

上記の希望利用調査には、札幌市の公立学校は参加がない。

4 調査期日

平成22年4月20日（火）

5 調査問題の出題範囲や内容（教科に関する調査）

【国語A，算数・数学A】

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活にお

いて不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題（主として「知識」に関する問題）

【国語B，算数・数学B】

- ・ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を中心とした出題（主として「活用」に関する問題）

6 児童生徒調査の質問内容（質問紙調査）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

7 調査結果に関する留意事項

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

苫前町の全国学力調査結果の概要

1 児童生徒の学力状況の概要

【小学校】

国語A 主として「知識」に関する問題

- * 全道平均、全国平均とも下回っている。8割以上の正答率を示した児童が半数を超え、6割未満が21%となっている。全学年を通じて、基礎的な知識・技能、特に「書く力」と「読む力」を身に付けさせる必要がある。

国語B 主として「活用」に関する問題

- * 全道平均、全国平均とも下回っている。6割未満の正答率を示した児童が28%となっている。全学年を通じて、基礎的な知識・技能、特に「活用力」を身に付けさせる必要がある。

算数A 主として「知識」に関する問題

- * 全道平均、全国平均とも下回っている。6割未満の正答率を示した児童が38%となっている。全学年を通じて、基礎的な知識・技能をさらに身に付けさせる必要がある。

算数B 主として「活用」に関する問題

- * 全道平均、全国平均とも下回っている。5割未満の正答率を示した児童が69%となっている。正答率がかなり低い設問もあることから、全学年を通じて、特に「活用力」を高める指導が必要である。

【中学校】

国語A 主として「知識」に関する問題

- * 全道平均、全国平均をわずかに上回っている。8割以上の正答率を示した生徒が半数を超え、6割未満が11%となっている。全学年を通じて、基礎的な知識・技能を確実に身に付けさせる指導を続けていく必要がある。

国語B 主として「活用」に関する問題

- * 全道平均を上回り、全国平均をわずかに下回っている。8割以上の正答率を示した生徒が72%、6割未満が28%となっている。全学年を通じて、活用能力の育成を図っていく必要がある。

数学A 主として「知識」に関する問題

- * 全道平均、全国平均を上回っている。8割以上の正答率を示した生徒が33%、6割未満が34%となっている。全学年を通じて、基礎的な知識・技能をさらに高める必要がある。

数学B 主として「活用」に関する問題

- * 全道平均、全国平均を大きく上回っている。6割以上の正答率を示した生徒が39%となっている。全学年を通じて、活用能力の育成を図っていく必要がある。

2 児童生徒の学習状況の概要

〔学習状況調査結果の傾向〕

質問紙調査は、子どもたちの生活習慣や学習環境などについての質問で構成されており、学習意欲、学習環境、生活の諸側面等に関する調査内容となっている。

本調査において、「している」「どちらかといえばしている」と肯定的に回答した児童生徒が80%を超えたものを高い傾向、60%未満を低い傾向として分類した。

苫前町の児童生徒が高い傾向（80%以上）を示した質問事項

小学校・中学校共通

- * 朝食を毎日食べている。
- * 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている。
- * 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- * ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。
- * 家の人と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べている。
- * 家で学校の宿題をしている。
- * 学校で友達に会うのは楽しいと思う。
- * 保育所や幼稚園に通っていた。
- * 学校のきまり（規則）を守っている。
- * 友達との約束を守っている。
- * 人が困っているときは、進んで助けている。
- * 近所の人に会ったときは、あいさつをしている。
- * 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。
- * いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- * 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- * 国語の勉強は大切だと思う。

- * 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

小学校のみ

- * 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- * 家の手伝いをしている。
- * 学校で好きな授業がある。
- * 今住んでいる地域の行事に参加している。
- * 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。
- * 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- * 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。
- * 算数の勉強は大切だと思う。
- * 算数の授業の内容はよく分かる。
- * 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- * 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

中学校のみ

- * 学級の友達同士で話し合っで学級のきまりなどを決めていると思う。
- * 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思う。
- * 授業では、ノートを丁寧に書いている。
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのは難しいと思う。
- * 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる。
- * 数学ができるようになりたいと思う。
- * 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

苫前町の児童生徒が低い傾向（60%未満）を示した質問事項

小学校・中学校共通

- * 家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- * 家で学校の授業の予習をしている。
- * 家で苦手な教科の勉強をしている。
- * 家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している。
- * 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。

小学校のみ

- * 自分には、よいところがあると思う。
- * 家で学校の授業の復習をしている。
- * 国語の勉強は好きである。
- * 長い文章を読むのは難しいと思う。

中学校のみ

- * 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。

- * 家の人と学校での出来事について話をしている。
- * 普通の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。
- * 普通の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。
- * 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。
- * 数学の勉強は好きである。
- * 数学の授業の内容はよく分かる。
- * 数学の授業で学習したことを普通の生活の中で活用できないか考える。

苫前町の児童生徒が全国より5ポイント以上高い傾向を示した質問事項

小学校・中学校共通

- * 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている。
- * 新聞やテレビのニュースなどに関心がある。
- * 今住んでいる地域の行事に参加している。
- * 人が困っているときは、進んで助けている。
- * 普通の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのは難しいと思う。
- * 国語の勉強は大切だと思う。
- * 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- * 国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。
長い文章を読むのは難しいと思う。

小学校のみ

- * 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- * 家の手伝いをしている。
- * 普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- * 普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。
400字づめ原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思う。

中学校のみ

- * 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。
- * 自分には、よいところがあると思う。
- * 家で学校の宿題をしている。
- * 家で学校の授業の復習をしている。
- * 家で苦手な教科の勉強をしている。
- * 家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している。
- * 学校の規則を守っている。
- * 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。
- * 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- * 学級の友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う。
- * 「総合的な学習の時間」の勉強は好きである。

- * 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思う。
- * 国語の勉強は好きである。
- * 読書は好きである。
- * 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。
- * 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- * 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる。
- * 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

苫前町の児童生徒が全国より5ポイント以上低い傾向を示した質問事項

小学校・中学校共通

- * 家の人と学校の出来事について話をしている。
- * 家で学校の授業の予習をしている。
- * 国語の授業の内容はよく分かる。

小学校のみ

- * 自分には、よいところがあると思う。
- * 将来の夢や目標を持っている。
- * 家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している。
- * いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- * 授業では、ノートを丁寧に書いている。
- * 国語の勉強は好きである。
- * 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

中学校のみ

- * 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- * 学校で好きな授業がある。
- * 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- * 普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。
- * 数学の勉強は好きである。
- * 数学の授業の内容はよく分かる。
- * 数学ができるようになりたいと思う。
- * 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。

〔児童生徒質問紙から読み取れる傾向〕

普段（月～金曜日）の「起きる時刻」は、児童は6時から7時30分、生徒は6時30分から7時30分の間に起きる児童生徒が多い。

普段（月～金曜日）の「寝る時刻」は、児童は9時から11時、生徒は10時から0時の間に寝る児童生徒が多い。

「睡眠時間」は、児童は8～10時間、生徒は6～9時間である。

普段（月～金曜日）1日あたりの「テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間」は、2時間以上の児童は66%、生徒は69%である。また、4時間以上の児童は24%、生徒は25%である。

普段（月～金曜日）1日あたりの「テレビゲーム」をする時間は、1時間以上の児童は66%、生徒は67%である。また、4時間以上する児童は14%、生徒は11%である。

普段（月～金曜日）1日あたりの「インターネット」をする時間は、1時間以上の児童は35%、生徒は58%である。また、4時間以上する児童は7%、生徒は11%である。

「携帯電話」を持っているのは、小学校6年生で17%、中学校3年生で36%である。

普段（月～金曜日）1日あたりの「学校以外での学習時間」は、児童は1時間以上が35%、生徒は22%である。

土曜日や日曜日など学校が休みの日1日あたりの「学習時間」は、児童は1時間以上が45%、生徒は31%である。

「学習塾（家庭教師を含む）」で勉強しているのは、児童は31%、生徒は19%である。

普段（月～金曜日）1日あたりの「読書をする時間」は、30分以上の児童は52%、生徒は28%である。また、2時間以上の児童は17%、生徒は3%である。

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書室や地域の図書館へ月1回以上行く児童は41%、生徒は25%である。

〔質問紙調査の結果〕

朝食を毎日食べている児童生徒の割合は高く、全道・全国と殆ど差はない。

学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている児童生徒の割合は全道・全国よりも高い傾向を示している。

児童生徒の寝る時刻、起きる時刻では、全道・全国と比べ、中学生の寝る時刻がやや不規則な面が見られるものの、全体的には全道・全国とさほどの差異はない。

普段、テレビゲームやインターネットをする時間が全道・全国よりも多い。

携帯電話を持っている児童生徒の割合は、小学生では17%、中学生では36%となっており、全道・全国に比べ低い傾向にある。

学校の授業時間以外の勉強時間や土・日曜日など学校が休みの日の勉強時間は、全道・全国よりも少ない。

学習塾（家庭教師を含む）に通っている児童生徒の割合は、全道・全国に比べて低いが、中学生ではその差が顕著である。

読書をする時間や地域の図書館・学校図書室の利用については、全道・全国とさほどの差はない。

家の人と普段（月～金曜日）夕食を一緒に食べている割合は、全道・全国と比べてやや高い傾向を示している。

家の人と学校での出来事について話をしている割合は、全道・全国と比べて低い。

「国語の勉強が好きですか」の質問では、「好き」または「どちらかといえば好き」の割合は、小学生では全道・全国と比べ低かったが、中学生では高かった。算数・数学における同様の質問では、小学生はわずかに高く、中学生は低い結果であった。